

令和2年度NPO活動推進補助金 活動報告書

事業名	「家族の回復プログラム～夫婦とひとり親サポート」
団体名	NPO 法人アコア
法人設立年月	2017年5月12日
主な活動	自助ミーティング、心理カウンセリング、心理講座、瞑想会、イベント、同行支援等
団体の目的	アコアは心理カウンセラー、セラピスト、回復を体験した元当事者が中心の団体です。当事者の経験を社会資源としてそれぞれのエンパワーメントにつなげることを目指します。虐待やDV、摂食障害等、トラウマを抱えた女性達の心の居場所として安全な環境で回復のためのプログラムやイベントを開催。心と身体のケアに重きを置き、トラウマのセルフケアと健全なコミュニケーションスキルの習得を応援し、当事者同士の自主的な相互支援が発現しやすい環境づくりで自立支援の一步をサポートします。
補助金の主な使途	スタッフ賃金 446,000 円、通信費 2,050 円、消耗品費 220 円、委託料 41,384 円
補助事業の概要	<p>(事業を実施した背景、事業内容、成果、次年度以降の展望)</p> <p>■実施背景：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による直接的・間接的影響で、密室となる家庭内でのストレスやもめごとは増加傾向にあり、危険な状態になる前に暴力的なコミュニケーションの改善、および不安を抱える親御さんサポートが求められていた。</p> <p>■内容①個別相談（夫婦は妻・夫の個別及びカップルカウンセリング） ②心理教育「交流分析」「暴力とトラウマ理解」「傾聴」「境界線」等 ③グループミーティング（同じ悩みを抱える方との出会い、わかちあい、DV虐待被害当事者との交流）</p> <p>・期間：5月24日～8月16日 ・対象者：子育て家庭の夫婦、ひとり親、母子 ※事実婚含む ・参加者数：①46件（単身8名、カップル5組（10名））②18名 ③14名</p> <p>■成果：参加者のほとんどの方が問題を一人で何とかしようとしていた。暴力的な関わり方の根本原因を見つめる機会と健全なコミュニケーションの知識を提供し、分かち合いの大切さを実感してもらった。男性（夫・父親）たちが講座やグループミーティングで他の男性参加者の登場に安心感を得て胸の内を語ってくれた。「家族の問題を家族だけで抱えることが虐待やDVなどの悪化につながるのだ」ということを体験を通じて理解してもらい、孤立をしないこと・第三者に話すことの大切さを実感してもらった。こうした取り組みを今後も続けてほしいというリクエストを頂き、他のご家族も紹介いただけるようになった。</p>

補足(1) 上記項目を満たしていれば、本様式以外を使用しても構いません。別紙記載例を参照してください。パワーポイント等で作成される場合は、10ページ以内とします。

(2) 活動写真を2、3枚程度添付してください。

(3) この報告書は、市ホームページに掲載するとともに、寄付者に送付している活動報告書を作成する際に活用させていただきます。